

Article 未来を読み解く 体験型エンタテイメント②

— 2069 年からの手紙 —

Experiential Entertainment Predicts the Future (2) — Message from 2069 —

竹内 ゆうすけ 合同会社ラ・シタデール
Yusuke Takeuchi LA CITADELLE LLC.
<http://lacitydelle.jp/>

Keywords: ARG, alternate reality game, cryptogram, decryption.

1. はじめに

前号に掲載した「未来を読み解く体験型エンタテイメント①—2069 年からの手紙—」において、2069 年の人工知能学会員が執筆したという設定の論文を掲載しました (図 1)。



図 1 前号に掲載した論文

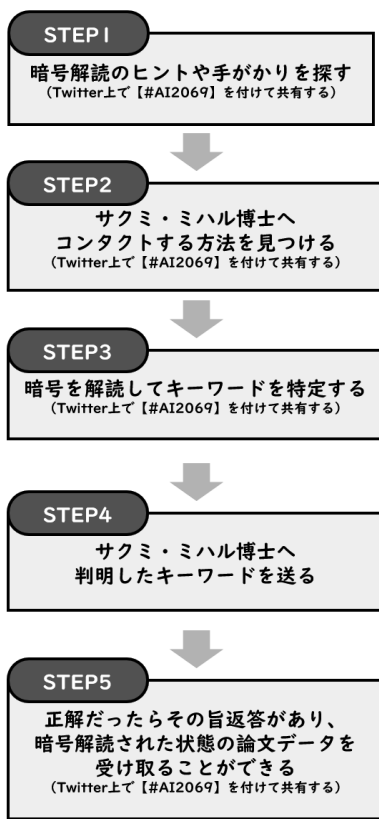


図 2 参加方法

あいこうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
なにぬねの
はひふへほ
まみむめも
やゆよ
らりるれろ
わをん
濁点、半濁点。伸ばし土
読点、句点。

図 3 暗号文字対応表



図 4 QR コード

今号では、この暗号化された論文が
いかに解読されていったかを解説しま
す。その後、新たに 2069 年から届いた
メッセージについてご案内します。

2. 前号の解説

暗号化された論文は、図 2 の流れで
解読が進みました。

Twitter ハッシュタグ **【#AI2069】**
を通じて議論が進み、暗号で使われた

絵文字が平仮名と一対一で対応してい
ると多くの参加者が推測しました。 そ
うえて人工知能学会誌の論文フォー
マットとの類似性などを手掛かりに少
しずつ文字の対応が特定されていき
ました。特定が進み、何名かによる
加筆を経て完成度を高めていった対
応表を完全なものにして最初に共有
したのは六角定規 (escape_yagi)
氏でした (図 3)。

また暗号化された論文には、現在の
論文フォーマットに存在しない QR コー
ドが記載されていました (図 4)。試し
にスマートフォンなどから読み取ると、
論文の著者である「サクミ・ミハル」

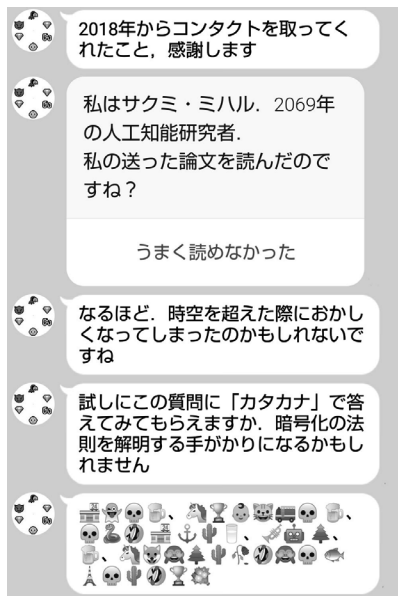


図5 LINEでのやり取り

博士とLINE上で友だちになることができました。

博士とLINE上で友だちになると、図5のようなやり取りが発生します。そして、提示された暗号文を解読して正しいキーワードをLINEへ入力するこ

とで問題は解決することが示唆されました。

このLINEで提示された暗号を文字対照表を使って解読すると、『にせんじゅうはちねんじんるいにおとずれたぎじゅつてきとくいてんをなんというか』となります。暗号化された論文には、サクミ博士のいる歴史では2018年に人類がシンギュラリティに達したことが示唆されており、求められているキーワードは「シンギュラリティ」だとわかる仕組みになっていました。このキーワードをサクミ博士のLINE宛に送信すると、論文の暗号化は解除され、暗号化前の論文データを入手できました。

今回、最も早く暗号化を解除した方は3月2日16時27分に正しいキーワードを入力しています。現在もLINE上でサクミ博士へ「シンギュラリティ」と送信すれば論文を入手可能ですので、ぜひご一読ください。論文には人工知能と人類が共生する近未来の様子が描写されています。

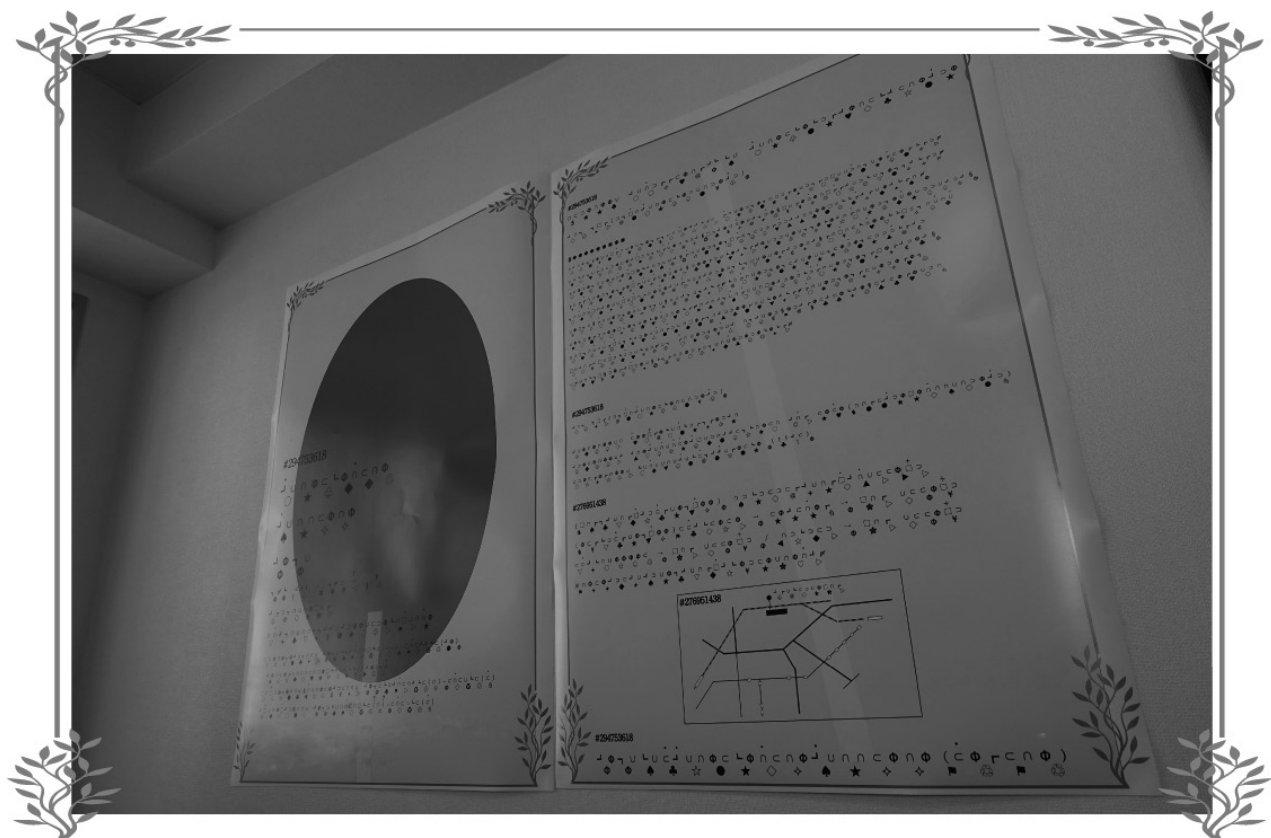
3. 表紙の仕掛けと、「オーディエンス」としての楽しみ方

前号で提示された暗号を解読するためのヒントは、さまざまところに隠されていました。例えば学会誌のVol. 33, No. 1 (2018年1月号)表紙に描かれた電子ペットのディスプレイ部分には“ねこ”に対応する絵文字が示されており(図6左), Vol. 33, No. 2 (2018年3月号)の表紙でも表紙モデルのバーチャルアナウンサー「沢村 碧(さわむらみどり)」の名前に対応した絵文字が掲載されていました(図6右)。



図6 表紙に隠されたヒント

前号で提示された暗号が解読される様子は、**Together**と呼ばれるキュレーションサービスで「今月の人工知能学



2069年から新たにもたらされたメッセージ

会誌に 2069 年から届いた暗号化された論文が掲載!? 謎解きに乗り出す学会の人々まとめ」という名前でまとめられており [Togetter 18], 6 500 view 超のアクセスを得ています (図 7). 暗号解読に参加するだけでなく, 集合知によって暗号が解かれていくプロセスもまた優れたエンタテイメントである証左といえるでしょう.



図 7 Togetter まとめ

4. 今号の仕掛けと参加方法

今号でも, 2069 年から新たにもたらされたメッセージを前ページへ掲載しています. しかし今回も時空を超える過程で原文が文字化けしてしまっているようです. まず QR コード (図 8) からサクミ博士へコンタクトを取ってみてください. 解読の手掛かりを得ることが出来るはず.



図 8 QR コード

—— 著者紹介 ——



竹内 ゆうすけ
合同会社ラ・シタデール
代表, NPO 法人国際ゲーム
開発者協会日本代替現
実ゲーム専門部会正世話
人.

前号に引き続き「2069 年からの手紙」はネタバレと SNS 上での情報公開を推奨します. 今号の暗号は前号のものより難易度が高いため, 独力での解読は困難です. 解読に行き詰まったら Twitter でハッシュタグ [#AI2069] を通じて気付いたこと, 疑問に思っていることなどを他の人と共有してみてください.

また, 暗号解読に参加しない方もハッシュタグや Togetter のまとめ記事などを通じて解読のプロセスを楽しんでみてください.

◇ 参 考 文 献 ◇

[Togetter 18] 今月の人工知能学会誌に 2069 年から届いた暗号化された論文が掲載!? 謎解きに乗り出す学会の人々まとめ (2018), <https://togetter.com/li/1206001>

2018 年 4 月 13 日 受理